

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズライン（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和6年12月5日	～	令和6年12月23日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和6年12月5日	～	令和6年12月26日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月30日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別プログラムと小集団プログラムの双方を提供している。	今年度、これまでの個別プログラムに加えて小集団で行うプログラムの時間を設けた。	小集団プログラムの時間でも、一人ひとりにとって手応えのある内容となるよう、グループの中での個別化の工夫をさらに行っていく。
2	子どもたちの主体性を大事にすることを意識している。	どの課題から行うか、どこまで行うか、何で遊ぶかななどを、本人が決める機会を設けている。	子ども自身から放課後等デイサービスでやってみたいことを聞く、子どもの興味関心のあることに沿った活動を考えるなど、子ども主体のプログラム作りを充実させる。
3	職員間の連携を充実させている。	定期的なスタッフミーティングを実施し、情報共有や意見交換を通じて連携を深めている。特に、ヒヤリハットの事例を細かく共有して、子どもたちが安心安全に過ごせるように努めている。	毎日のブリーフミーティングの時間を設けて、その日に留意すべき点について、職員間の共通認識を高める。事業所内だけでなく地域や外部団体との連携を深める取組を推進する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	内部研修の内容に改善の余地がある。	研修は一部のスタッフが外部研修に参加して、その内容を内部で共有することが中心になっている。	スタッフの意見を積極的に取り入れた内部研修プログラムを企画・実施し、現場での課題解決に直結した研修内容を増やす。
2	保護者同士の関わりの機会を作ることに課題がある。	日々の支援は、個別に行っているため、保護者同士が交流する機会がない。	保護者向けの勉強会などの場を設けて、その中で保護者さん同士が顔を合わせたり、意見交換したりする機会を作ることを検討する。
3	事業所で定めている各種マニュアル、指針について、保護者への周知の仕方に改善の余地がある。	重要事項説明書への記載、壁への掲示など、周知方法が複数に分かれている。	ホームページへの一括掲載、ニュースレターでの周知など、保護者さんに伝わりやすい方法を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズライン（放課後等デイサービス）					公表日	令和7年3月30日	
					利用児童数	34	回収数	15
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	広すぎると走るなどにつながり危険なのでちょうどよいと思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87%	13%	0%	0%	安全対策は取られていると思うが、階段が急なので親からも子どもにも都度声かけをしている。	階段については、職員が見守る、ポスターを貼って注意喚起するなどして、できる限りの安全対策を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どもの様子に応じて、成長できるちょうどいいステップを提示している。相談したことに応じて指導を工夫してくれる。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	学校の学習内容より簡単なことをやっている時が多いが、なるべく並行してもらえると子どもの理解につながると思う。	支援内容について、ご本人、保護者の方のニーズをうかがいながら作成します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	体を使った遊びや手先を使った遊び（工作等）をもう少し充実させてほしい。子どものその時の興味に合わせてくれている。グループ活動では様々な分野に触れる機会があり、全体の中で柔軟に組み合わせられて実施されていると思う。	さまざまな活動を経験してもらえよう、計画をたてて実施していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20%	7%	47%	27%	他団体との交流は必要無いと思う。放課後デイのため、そもそもそういった機会が必要なのかわからない。	地域交流については、利用者の皆様のご意見を踏まえて検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	毎回丁寧に説明してもらっている。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80%	13%	0%	7%	保育等の配慮も得られた。他で開かれた勉強会と同じ内容で、事業所でも機会が設けられていたのも良かった。	ご家族の学びの機会となる研修会や情報提供コーナー等の充実に努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93%	7%	0%	0%		見学室をご利用いただいている方にも、そうでない方にも、気軽に相談できる機会を提供できるよう、方法などを検討します。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%			

保護者への説明等 (続)	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20%	20%	13%	47%	これまで通っている中ではなかったように思う。保護者にそのようなニーズがあるかわからない。必要ないと思っている。	保護者同士の交流、きょうだい児同士の交流については、みなさんのご意見をうかがいながら検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	迅速かつ丁寧に対応してもらうことができ、相談しやすい環境である。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	87%	0%	0%	13%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93%	7%	0%	0%	サインをする書類の狭まったファイルは、他の人が中を見られる状態になっている。また万一見知らぬ人が入ってきたときにも見られてしまう可能性がある。	ご意見を踏まえて、実績記録票をファイルを玄関に置くことをやめました。お子さんの支援室で、担当支援員が管理し、お迎えの時にサインしていただくようにしました。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	67%	0%	0%	33%	事故等に遭ったことが無いが、日頃の様子から、迅速にご対応頂けることは間違いないと思う。	事故発生時は、保護者の方に速やかに連絡し、迅速な対応ができるよう、日頃から安全管理に努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	100%自分らしく居られる場所である。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	87%	13%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	大変満足している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズライン（放課後等デイサービス）		公表日	令和7年3月30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	子どもの人数に応じて部屋を分けるなどの調整を行っている。子どもそれぞれが自分のペースで過ごせるスペースが確保されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	子どもひとりひとりの特性や状態に配慮しながら、適切に職員配置がされている。状況に合わせて柔軟に対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	収納の工夫やパーティションやボックスを利用することで部屋の環境を子供が集中しやすいように整えている。その日の予定を掲示している。急な階段などでは、ポスターを貼って注意喚起し、安全に配慮している。	子どもの荷物や学習に使う文房具が、入室退室の動線から離れたところにある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	定期的な清掃を行なっている。子どもの特性や活動内容に応じて部屋を使い分けている。	柵や窓の掃除時間の確保やトイレの清潔さの向上が求められる。線路が近いので、電車の音が苦手な子には配慮が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	子どもの様子に合わせて、個別の部屋やスペースを用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	スタッフミーティングで情報共有や意見交換を行っている。また、日々の記録、定期的な支援計画作成やモニタリングを通じて、PDCAサイクルを効果的に回している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者による事業所評価を毎年行い、結果をもとに改善目標を立て、目標が達成できたかどうかを振り返る機会を作っている。保護者向け勉強会を実施することができた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的にスタッフミーティングを実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		第三者評価がどのように実現可能かを検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修の紹介や、外部研修参加費の助成を行なっている。	内部研修の内容の充実が課題。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	5領域の支援プログラムを作成し、HPに公表した。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	日々の支援記録や支援の様子を観察と、モニタリング面談の内容をもとに、作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	児発管と担当支援員が支援会議を行い、内容を検討している。	「何が好きか」「何をして過ごしたいか」など、子ども自身の意見を聞く機会を設けられると良い。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	保護者に承認された計画を担当支援員と共有し、支援の一貫性を保っている。さらに、日々の支援を記録するデータベースには、その時々目標が表示され、目標に沿った支援と結果を記録できる仕組みが整っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	支援開始初期に、感覚プロファイルを実施している。日々の支援の中で行動を観察している。	フォーマルなアセスメントは全児童に行っていない。

適切な支援の提供 (続)	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	今年度からグループ活動を導入したことで、活動プログラムにバリエーションが生まれた。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		参加が難しい子どもが見ているだけにならないような支援について考える時間があると良い。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	必要に応じて事前の打ち合わせや分担の確認を行なっている。	毎日のブリーフミーティングを取り入れた。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6	必要に応じて情報を共有したり、職員同士で話し合ったりしている。	全員での振り返りの時間を取り、良かった点や改善点を記録できるとより良い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎回の支援について記録し、共有できる仕組みができています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	4		地域交流の機会の提供は行っていない。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子供の要望や様子によって、どの課題から行うか、どこまで行うか、何で遊ぶかなどを、本人が決める機会を設けている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		個別支援担当のスタッフも参画できるとより良い。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	訪問支援を行っている。その内容は個別支援担当の職員に共有されている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	4	保護者を通して行なっている。	学校との情報共有を行う繋がりが薄い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	児発からの継続利用者が多いので、幼児期の様子を知ることができている。	一部で行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6		その年齢に該当する利用者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6		連携する方法があるのか分からない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎回その日の様子を保護者に伝えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0			

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		子どもの意見を聞く機会が作れると尚良い。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	保護者勉強会を開催し、保護者間のつながりができるきっかけを提供した。	ニーズがあれば検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		どのような活動が可能かを検討したい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		利用者家族への内容の周知が不十分かもしれない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	今年度は、地震、火災、浸水、のそれぞれについて避難訓練をおこなった。	救出を想定した訓練を行うとより良い。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	てんかんをもつ子どもとその対応について共有している。	予防接種の有無は確認していない。必要が検討。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5	食べ物を提供する機会がない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	避難訓練のお知らせをしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットがあったら必ず記録し、ミーティングで対応を検討し、実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	身体拘束につながりうる事項についても記録をとるようにしたことで、できるだけ体を触って子どもの行動を阻止することを避けようという意識が高まった。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2		現時点で身体拘束の必要な状況のないお子さんに対して、万一の場合を想定して計画に記載することはしていない。身体拘束の必要な状況が出てきたときには、放課後等デイサービス計画に記載する。	